

○「自治会長とプランの見直しの意見交換」

(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成31年度第5回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年10月19日(土) 13:00~16:00
- 場 所: 宮津市波路集会所
- 出 席 者: 委員2人、推進委員1人、協力員3人
自治会長3人、市・事務局各1人
※委員3人、委員以外8人
- 報 告 者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

宮村;耕作面積14ha、緊急課題は1.4haの遊休農地の対応(山手は遊休農地拡大傾向、平場は家庭菜園希望者あり)
辻町;耕地3.5ha 機械所有者2名 / 滝馬;耕地8.5ha 乾燥機9台 / 皆原;中山間直払の取組 50a遊休の恐れ
山中;イノシシ被害大 まとめ役不在 / 波路;プラン作成済(新規就農) / 獅子崎・波路町;高齢化。波路が耕作

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プランの説明と見直しの提案(プランの地域を隣接集落にも拡大する意見交換)
 - ・波路地区のプランを波路地区と獅子崎地区を含めたプランに見直したい旨を説明
理由は、獅子崎地区は農家が少なく、高齢化で波路地区の担い手が耕作している状況があるため
(意見交換)・獅子崎はすでに小作料はない。むしろ管理料を考えるべきではないか
 - ・家の後継者の意見を聞くべきである ・非農家の意向調査も必要。農家だけでは意味がない
 - ・5、10年後を考えると若者の意見を聞くべきである ・組織化する必要があるのでは
- 今後の取り組み アンケートを実施し、集計後に検討会を再び開き、見直しプランを作る



4 活動結果

- 情報・意見交換 3 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援